

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-34 □支援部門		大船支所管理運営事務							
主管課	大船支所		関連課		関係各課					
分野名	行財政運営・コミュニティ活動の活性化									
目標 (目標値)	地域住民の身近なところで、きめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。									
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考					
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
事業の対象者数	42,652人	42,726人	42,594人							
運営資源状況	決算値(千円)	33,652	35,111	47,480						
	(国・県)			2,667						
	(負担金等)	47	46	78						
	(一般財源)	33,605	35,065	44,735						
	人員配置数	11.0人	11.0人	11.0人						
	人件費(千円)	92,698	92,695	95,371						
	協働のパートナー									
事務事業運営経費	総事業費(千円)	126,350	127,806	142,951						
	市民1人当りの経費(円)	713	721	809						
	対象者1人当りの経費(円)	2,962	2,991	3,354						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	国保・年金移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
昼休み窓口業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日				
		実績値	毎日	毎日	毎日					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
大船支所運営事務	7,378千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要: 戸籍届、住民異動届、印鑑の登録・廃止、諸証明書等の交付、国民年金、国民健康保険の各種届出、市税等の収納事務、地域団体との連絡・協調に係る事務を行う。	
	26,274千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要: 大船行政センターの維持管理を行う。	
大船支所管理事務		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要:	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要:	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要:	

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	・支所は、本庁の複数の窓口業務を担っているが、その多数の業務について、それぞれ個々にオンライン化が進められており、それに対応する業務が益々膨大になっている。また、支所業務に精通するためには、それなりの年数を要するため市民から求められる内容が深くなると対応に困難が生じる。
課題解決のための取組	・市民のニーズに対応できるように職場研修や外部研修に参加するなどして職員のスキルアップに努めた。
未解決の課題	・支所は、本庁の複数の窓口業務を担っているが、その多数の業務について、それぞれ個々にオンライン化が進められており、それに対応する業務が益々膨大になっている。また、支所業務に精通するためには、それなりの年数を要するため市民から求められる内容が深くなると対応に困難が生じる。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			・窓口業務の多くを担う支所において、職場研修等を通じ、業務に必要な知識の習得等、職員のスキルアップに努め、確実な業務の遂行と市民サービスの向上を目指す。	↓ A	課長等名 大船支所長 梅澤 正治

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
大船支所運営事務	主な個別事業	296 事務補助嘱託員報酬 5人	5,141	5,141	■適切	□見直し余地あり
		296 文房具等消耗品費	886	886	■適切	□見直し余地あり
		296 電話、ファクシミリ等電信料	692	585	■適切	□見直し余地あり
		296 電子複写機保守業務委託料	57	42	■適切	□見直し余地あり
		296 給茶機保守点検委託料	38	38	■適切	□見直し余地あり
		296 電子複写機賃借料	311	151	■適切	□見直し余地あり
大船支所管理事務	主な個別事業	297 大船行政センター光熱水費	5,371	4,338	■適切	□見直し余地あり
		297 施設維持修繕料	1,223	1,871	■適切	□見直し余地あり
		297 昇降機等施設保守点検手数料	1,601	1,659	■適切	□見直し余地あり
		297 施設総合管理業務委託料	17,640	17,640	■適切	□見直し余地あり
		297 夜間機械警備委託料	253	253	■適切	□見直し余地あり
		297 空調機等保守点検委託料	168	168	■適切	□見直し余地あり
		297 自動扉保守点検委託料	164	164	■適切	□見直し余地あり
		297 レジスター保守点検委託料	29	29	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり